

デジタルSAGA 官民共創セミナー2024

聴講者を
募集します

デジタルSAGA官民共創セミナーとは

本セミナーは、官民共創の先進的な事例を共有するとともに、自治体、企業・団体等、市民がそれぞれの立場を超え、地域課題解決のアイデアを創出するための機会として開催するものです。

県内自治体DX担当者は、既に第1回dx21研究会で、最先端のデジタル技術やデータ利活用、データ連携により解決できそうな地域課題についてグループ討議を行い、3つのテーマを設定しました。これらのテーマ及び解決すべき課題について、自治体側が発表し、企業・団体等から様々なソリューションを提案します。当日は一般の聴講も募集します。お気軽にご参加ください。

開催概要

期日 **2024年8月22日 (木)**
13:00開場／13:30開会

会場 **ホテルグランデはがくれ**
(佐賀市天神2丁目1番36号)

定員 50名

※先着順で受け付け、定員になり次第締め切らせていただきます。

参加申し込み方法

チラシ下部の二次元コードを読み取り、参加申込フォームに必要事項をご入力の上、お申し込みください。

スケジュール

13:30 開会

13:35 基調講演

土屋 俊博 氏 (一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム運営委員)
テーマ「well-beingなまちを目指して
～地域課題の解決に向けたデータの使い方～」

14:40 課題解決の提案

テーマ1 「空き家～みんなで活用を考える～」
テーマ2 「防災～みんなの命を守る～」
テーマ3 「ヘルスケア～みんなの健康寿命を延ばす～」

※詳細は裏面をご覧ください

16:30 総括～名刺交換・参加者交流会

17:00 閉会

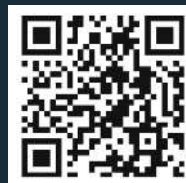
講師紹介

一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム 運営委員
デジタル庁認定 well-beingファシリテーター (第1期)



土屋 俊博

電機メーカーに入社後、経営企画部門でグループ経営・カルチャー変革・共創活動に従事。2019年から内閣府科学技術・イノベーション推進事務局でスマートシティ関連政策を担当。2022年5月に一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアムの設立に携わり、現職。神戸市スマートシティアドバイザー。傍ら、Code for Nagareyama / Civic Tech Zen Chiba において千葉県のシビックテック活動に参画。経済産業大臣認定 中小企業診断士 (2013年登録)。長野県小諸市出身。2024年4月現在、福島県会津若松市と千葉県流山市の二拠点居住。





01 空き家～みんなで活用を考える～ (14:45～)

これから訪れる縮小社会では、少子高齢化、世帯数減に伴い、急激に空き家が増加することが予測されています。これらの空き家を有効活用するための取り組みが自治体単位では始まっていますが、まだ地域間で取り組みの温度差があるのが現状です。



①株式会社電通九州

空き家を活用した新しい観光と働き方を提案。「SAGOJO」と連携し、地域の空き家を滞在拠点に、人手不足解消とスキル提供をマッチングし、地域の人の流動性を高めるモデルを構築します。



②九電ドローンサービス株式会社

360度VRで空き家をヴァーチャル体験。360度の映像で間取りや室内の状態を確認、加えてドローン空撮映像で建物外観や周辺環境を確認することで、入居後の生活をリアルにイメージすることができます。

02 防災～みんなの命を守る～ (15:05～)

気候変動などの影響もあり、地域における防災減災対策は喫緊の課題になっています。一方で、デジタル技術やデータ活用面、いわゆる防災DXは、まだ取り組みが十分に進んでおらず課題山積です。



①日本電気株式会社

情報の一元化とリアルタイム共有で災害時の「逃げ遅れゼロ」を目指し、個別避難計画、共助避難支援、防災ダッシュボードのサービスを組み合わせ、支援者と住民が協力して迅速な避難と支援を実現します。



②ソフトバンク株式会社

能登半島地震で衛星通信、簡易シャワー、手洗い機、移動診療所を導入。14自治体で実績があり、災害時の人流データ解析と防災計画支援も行っています。



③株式会社オプティム

自治体公式スーパーアプリで防災情報を集約、Push通知で提供。マイナンバーカード活用での避難所チェックインを実装。ミニアプリによる迅速な復旧支援を実現。自治体と住民の防災面における情報伝達のお悩みを解決します。



④公益財団法人九州先端科学技術研究所 (ISIT)

人口減・税収減に対応し、オープンデータ活用でデジタル社会を推進。ノーコードツールで防災DXアプリを提案し、行政に頼らず共助を実現。Excel感覚で誰でもアプリを作成可能。現場に必要なDXアプリ作成を支援します。

03 ヘルスケア～みんなの健康寿命を延ばす～ (15:40～)

日本は平均寿命も健康寿命も世界一だと言われています。一方、2つの寿命の差は10.2年で、世界で33位というデータがあります。これは不健康な期間が長いということになり、この短縮は大きな課題です。



①日本電気株式会社

佐賀県の医療費削減と健康寿命延伸を目指し、AIで健診データを分析し健康予測を行うサービスと、血液から疾病リスクを予測する検査を提案。特定健診受診率向上と医療費削減を実現します。



②株式会社マクニカ

学術的証拠を基に開発したフレイル予防サービス。運動介入前後のチェックにより自分事化を促し、施策に反映できる集団データを提供。SAGATOCOとのデータ連携により、県民のQOL向上に貢献します。



③ソニーワイヤレスコミュニケーションズ株式会社

SAGATOCOで運動を促進し、エンタメ性を取り入れたコンテンツで歩行習慣を改善。精度の高い空間認識技術を活用した音声MRを提供。歩数増加と無関心層の取り込み、アクセシビリティ向上にも期待されます。



④株式会社まちのわ

電子商品券システムをベースに、健康情報提供やポイント付与を通じて意識と行動を促進。地域経済を活性化し、マイナンバーカード連携で利用促進。行政施策の浸透と業務効率化も実現します。



⑤株式会社翔薬

地域密着型健康事業を展開し、疾患啓発活動を通じて疾病の発症予防や医療費適正化を目的に自治体や医療機関と連携。専用LPを用いて疾患啓発を行い、医療機関やドラッグストアと協力して受診促進を図ります。



⑥伊万里ケーブルテレビジョン株式会社

「III電子@連絡帳サービス」で医療・介護・福祉が連携し情報共有を強化。全国80自治体で導入され、地域医療や防災対策を支援。セキュリティ基準を遵守し、健康管理や救急対応を促進する実用的なツールです。

